



おおたかの森中だより

美術部による作品

流山市おおたかの森西2-13-1 ☎04 (7159) 7002 生徒数559名

3年生を送る会 ありがとう!!

3月3日(月)に「3年生を送る会」が実施されました。各学年が発表に向けて多くの時間を費やし、これまで発表準備に一生懸命取り組んできました。

当日は、会を運営する生徒会執行部が先生方と一緒に素敵なダンスを披露し、会場を盛り上げる素晴らしいオープニングで幕を開けました。



1学年の発表では、3年生のこれまでの振り返る思い出劇を発表しました。ユーモアあふれる内容かつ感動的な発表となっており、各クラスの思い出や先生方とのエピソードを楽しみながら振り返ることができました。

2学年の発表では、「ドラゴンボール」をモチーフに、学校生活を振り返りながら3年生の「7つの強み」を劇で表現し、これまで3年生が積み上げてきたものを再確認できる発表となりました。また、発表には、3学年が合唱コンクールで披露した「合唱」がらりばめられており、後輩たちの想いのこもった合唱披露に、その都度拍手が巻き起こりました。

3学年の発表では、これまでの感謝の気持ちを「映像」「呼びかけ」「合唱」で表現しました。さすが最上級生という内容で、お世話になった方々、後輩、そして家族に自分たちの想いを精一杯伝えました。堂々と発表する姿は先輩としての逞しさを感じる発表となりました。

全校応援団の引継ぎでは、3年生がこの日のために練習してきた新演舞を披露し、会場を沸かせました。また、旧団長がこれまでの感謝の気持ちを全校に伝え、後輩に全てを託しました。それに応えるように、新応援団長がこれからの決意を堂々と述べ、新全校応援団として新しい一歩を踏み出しました。

全学年共通して、完成度の高い素晴らしい学年合唱を披露し、改めて「合唱」はおおたかの森中学校の強みであることを再確認できる機会となりました。卒業式では、在校生、卒業生、共にこれまでの「感謝の気持ち」を歌にのせ、最高の合唱を響かせてくれることと思います。



3年生を送る会を終えて

校長 塩野 述子

3月3日に「3年生を送る会」を行いました。たくさんの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。「3年生を送る会」は3学年が揃っての最後の学校行事であり、生徒の手による卒業式とも言えるものです。どの学年も本当に素晴らしい発表でした。笑いあり、涙ありの発表には、3年生への尊敬と感謝があふれていました。4月から当日までの様々な場面が思い浮かび、生徒たちの成長に胸が熱くなりました。

今年度本校では、学校教育目標を「主体的に活動し、自立する生徒の育成」とし、学校像「生徒に関わるすべての人々が力を合わせ、生徒の主体性を引き出し、自己実現を全力で支援する学校」としています。「3年生を送る会」でも、司会進行、ダンス、会場設営、装飾、役者、音響、大道具・小道具、照明、放送、アテレコ、指揮・伴奏、招待状など実に様々な役割がありました。そうした役割をとおして、「よりよいものを創り上げようとする」「自分が好きなことをして周りへの貢献になる」という経験をした生徒が多くいたことと思います。同じことをするのにも、割り当てられたことや言われたことをただ行うのと、どうしたらよりよいものができるかと主体的に取り組むのでは、得るものが異なります。毎日の学校生活の中で、こうした小さな自己決定や自己実現を積み重ねることは、大人になってからの大きな自己決定や自己実現につながっていくことと思います。これまで1、2年生を導いてくれた3年生も、あと3日でおおたかの森中学校を巣立っていきます。中学校生活で身につけた力をさらに伸ばし、それぞれの進路先で活躍してくれることを願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、令和6年度も本校教育活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。